

令和7年度施設自己評価の結果について

公表：令和 8 年 1 月 21 日

事業所名

そよかぜ

国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、事業所職員が自己評価を実施しました。

事業所における課題点及び改善すべき点を今一度確認し、今後の当会及び当事業所の運営に活かしていきます。

今後ともご家族様と共によりよい事業所を目指していきたいと思いますので、ご理解・ご協力いただきますよう、お願ひいたします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である	6	0		
	②	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	6	0		
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている	6	0	スケジュールや玩具等、視覚表示を用いてわかりやすく提示している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているまた、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0		
	⑤	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	6	0	一人ひとりのその時の要望に応じて、併設の子ども園のスペースも含めて移動、使用できる環境を整えている。	
業務改善	⑥	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		
	⑦	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	6	0	利用者満足度調査のアンケートを毎年実施し、保護者の意向等を把握して業務改善につなげている。	
	⑧	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	6	0	月1回のカンファレンスを実施し、職員間で共有できる機会を設けて業務改善に努めている。	
	⑨	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	法人内の内部監査を実施し、業務改善に努めている。	第三者による外部評価は受診していません。
	⑩	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	6	0	法人研修や今年度は自閉症研修を取り入れて、職員の資質向上を図る機会を確保している。	内部研修の機会は多くあるが、外部研修に参加する機会が少ないため、参加する機会を増やしていきます。
児童発達支援	⑪	適切に支援プログラムが作成、公表されている	6	0		
	⑫	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	定期的に面談を実施してアセスメントを行い、保護者のニーズや課題を把握して計画書の作成をしている。	
	⑬	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている	6	0		
	⑭	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	6	0		
	⑮	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	5	1		子どもの適応行動の状況を確認するために、アセスメントのツールの見直しを検討していきます。

適切な支援の提供	⑯ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	⑰ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	活動の意見を紙面にて出し合い、立案を行っている。	
	⑱ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		
	⑲ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	6	0		
	⑳ 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	6	0	週の中で話し合う時間を設け、翌週の活動内容などの確認を事前に行っている。	
	㉑ 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	勤務の都合で全職員の参加は難しいが、毎日振り返りの時間を設けて情報共有を行い、話した内容を紙面にて伝達している。	
	㉒ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	日々の支援の中で気づいたことを記録に取り、支援の検証と改善につなげている。	
	㉓ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	6	0	定期的にモニタリングを実施して見直しを行っている。	実施時間においては全職員での確認が難しい場合があるため、個々に聞き取りを行いながらより適切な見直しができるようになります。
	㉔ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画している	6	0		
	㉕ 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	6	0		
関係機関や保護者との連携	㉖ 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているまた、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	併行利用しているこども園と毎月リンクファレンスを行い、情報共有や支援内容を確認して相互理解を図っている。	
	㉗ 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	学校に訪問して引継ぎを行い、情報共有を行っている。	
	㉘ 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けている	5	1	地域の児童発達支援センターの見学や連絡会に参加し、情報共有や助言を参考にして支援に活かしている。	多くの職員が受けれるように機会を検討していきます。
	㉙ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がある	6	0	併設しているこども園の園児と日々の生活の中で日常的に交流している。	
	㉚ 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
	㉛ 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	3	3	茶話会で保護者同士の意見交換の機会を設けたり、保育参加会に参加頂き情報提供をしている。	全てのご家族が参加していただけてるわけではないので、開催時期や回数の検討をしていきます。
	㉜ 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		

保護者への説明責任等	③₃児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている	6	0		
	③₄「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	③₅定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている	6	0	送迎時に保護者の方と話をする機会を大切にし、必要に応じて面談を実施して相談の機会を設けている。	
	③₆父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているまた、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	6	0		保護者の交流会は実施されているが、きょうだい同士の交流する機会はないため検討していきます。
	③₇こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	③₈定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している	6	0	毎月のブログの更新やおたよりの発行、連絡帳等を通して情報発信をしている。	
	③₉個人情報の取扱いに十分留意している	6	0	個人情報の書類は鍵のかかる場所で管理している。	
	③₊障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	③₁事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		地域住民の方への情報発信や知る機会を設けられるように検討していきます。
	③₂事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		
非常時等の対応	③₃業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	併設しているこども園と合同で毎月避難訓練を実施している。	
	③₄事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6	0	定期的な面談時に聞き取りを行い、状況の確認をしている。	
	③₅食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	③₆安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	6	0		
	③₇子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画を作成し、保護者に年度始めに説明を行って周知している。	
	③₈ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている	6	0	リスクマネジメント委員会や職員会議での報告を行い、情報共有をして再発防止に努めている。	
	③₉虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	③₁₀どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		

■ はい ■ いいえ

利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である	6	0
利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	6	0
生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パ…	6	0
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているまた、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0
必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	6	0
業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0
保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	6	0
職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	6	0
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5
職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	6	0
適切に支援プログラムが作成、公表されている	6	0
個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解…	6	0
児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	6	0
子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むイン…	5	1
児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支…	6	0
活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0
活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	6	0
支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携…	6	0
支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0
定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	6	0
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画して…	6	0
地域の保健・医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉・保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整え…	6	0
併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているまた、その際、保育所や…	6	0
就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0

■ はい ■ いいえ

地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや助言等を受ける機会を設けている	5	1
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がある	6	0
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0
家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行って…	3	3
運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0
児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機…	6	0
「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0
定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている	6	0
父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているまた、きょうだい同士で交流する機…	6	0
子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応して…	6	0
定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0
個人情報の取扱いに十分留意している	6	0
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	4	2
事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を…	6	0
業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っている	6	0
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6	0
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0
安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	6	0
子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0
ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている	6	0
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載し…	6	0